【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和5年12月5日(2023.12.5)

【国際公開番号】WO2022/202341
【出願番号】特願2023-508972(P2023-508972)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｈ　1/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｈ　1/02

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月7日(2023.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の音響信号を受け付ける第１の受付部と、
　第２の音響信号を受け付ける第２の受付部と、
　第１の入力音響信号および第２の入力音響信号と、前記第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する出力エフェクト情報との間の入出力関係を示す学習済モデルを用いて、前記第１の音響信号および前記第２の音響信号から前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映するエフェクト情報を推定する推定部とを備える、音編集装置。
【請求項２】
前記エフェクト情報は、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の音響信号を生成するためのパラメータを含む、請求項１記載の音編集装置。
【請求項３】
前記学習済モデルは、前記第１の入力音響信号および前記第２の入力音響信号に基づいて、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の入力音響信号を生成するための出力パラメータが前記出力エフェクト情報として学習されることにより生成される、請求項２記載の音編集装置。
【請求項４】
前記エフェクト情報は、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の音響信号を含む、請求項１記載の音編集装置。
【請求項５】
前記学習済モデルは、前記第１の入力音響信号および前記第２の入力音響信号に基づいて、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の入力音響信号が前記出力エフェクト情報として学習されることにより生成される、請求項４記載の音編集装置。
【請求項６】
前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトの程度を調整する調整部をさらに備え、
　前記推定部は、前記学習済モデルに基づいて、前記調整部により調整された程度で前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する前記エフェクト情報を推定する、請求項１～５のいずれか一項に記載の音編集装置。
【請求項７】
前記学習済モデルは、前記第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトの程度に対応して複数生成される、請求項６記載の音編集装置。

【請求項８】
第１の音響信号を受け付け、
　第２の音響信号を受け付け、
　第１の入力音響信号および第２の入力音響信号と、前記第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する出力エフェクト情報との間の入出力関係を示す学習済モデルを用いて、前記第１の音響信号および前記第２の音響信号から前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映するエフェクト情報を推定する、
　コンピュータにより実行される、音編集方法。
【請求項９】
前記エフェクト情報は、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の音響信号を生成するためのパラメータを含む、請求項８記載の音編集方法。
【請求項１０】
前記学習済モデルは、前記第１の入力音響信号および前記第２の入力音響信号に基づいて、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の入力音響信号を生成するための出力パラメータが前記出力エフェクト情報として学習されることにより生成される、請求項９記載の音編集方法。
【請求項１１】
前記エフェクト情報は、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の音響信号を含む、請求項８記載の音編集方法。
【請求項１２】
前記学習済モデルは、前記第１の入力音響信号および前記第２の入力音響信号に基づいて、付与されるべきエフェクトが付与された前記第１の入力音響信号が前記出力エフェクト情報として学習されることにより生成される、請求項１１記載の音編集方法。
【請求項１３】
前記コンピュータは、
　前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトの程度をさらに調整し、
　前記エフェクト情報の推定において、前記学習済モデルに基づいて、調整された程度で前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する前記エフェクト情報を推定する、請求項８～１２のいずれか一項に記載の音編集方法。
【請求項１４】
前記学習済モデルは、前記第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトの程度に対応して複数生成される、請求項１３記載の音編集方法。
【請求項１５】
コンピュータに音編集方法を実行させるプログラムであって、
　第１の音響信号を受け付ける処理と、
　第２の音響信号を受け付ける処理と、
　第１の入力音響信号および第２の入力音響信号と、前記第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する出力エフェクト情報との間の入出力関係を示す学習済モデルを用いて、前記第１の音響信号および前記第２の音響信号から前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映するエフェクト情報を推定する処理とを、
　前記コンピュータにより実行させる、音編集プログラム。
【請求項１６】
　コンピュータに音編集方法を実行させるプログラムであって、
　第１の音響信号を受け付ける処理と、
　第２の音響信号を受け付ける処理と、
　第１の入力音響信号および第２の入力音響信号と、前記第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する出力エフェクト情報との間の入出力関係を示す学習済モデルを用いて、前記第１の音響信号および前記第２の音響信号から前記第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映するエフェクト情報を出力する処理とを、
　前記コンピュータにより実行させる、音編集プログラム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明のさらに他の局面に従う音編集プログラムは、コンピュータに音編集方法を実行させるプログラムであって、第１の音響信号を受け付ける処理と、第２の音響信号を受け付ける処理と、第１の入力音響信号および第２の入力音響信号と、第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する出力エフェクト情報との間の入出力関係を示す学習済モデルを用いて、第１の音響信号および第２の音響信号から第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映するエフェクト情報を推定する処理とを、コンピュータにより実行させる。
本発明のさらに他の局面に従う音編集プログラムは、コンピュータに音編集方法を実行させるプログラムであって、第１の音響信号を受け付ける処理と、第２の音響信号を受け付ける処理と、第１の入力音響信号および第２の入力音響信号と、第１の入力音響信号に付与されるべきエフェクトを反映する出力エフェクト情報との間の入出力関係を示す学習済モデルを用いて、第１の音響信号および第２の音響信号から第１の音響信号に付与されるべきエフェクトを反映するエフェクト情報を出力する処理とを、コンピュータにより実行させる。